

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 74
2022.6

TOPICS

1

岡山大学・米務省「重要言語奨学金 (CLS) プログラム」 夏期オンラインコース開講式を挙行政



本学は、米務省により選抜された全米トップクラスの大学生・大学院生に対し、日本語と日本文化を集中的に学ぶ「米務省重要言語奨学金 (CLS) プログラム」の派遣先として2019年度から採択されています。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、日本への実留学はできなくなりましたが、6月14日～8月6日までの8週間、全米から選抜された23人の大学生・大学院生に対して、オンラインでプログラムを開講します。

6月10日、同プログラムの開講式をオンラインで挙行了しました。開講式は、本学及び米国関係者と参加学生をテレビ会議システムでつなげて実施。榎野博史学長が、「重々無尽の縁」という禅の言葉を紹介し、「今回のCLSプログラムへの参加が、みなさんにとっての一つの始まりの”点”となり、将来につながって様々な形で実を結ぶよう応援しています」とあいさつしました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11277.html

TOPICS

2

長尾講師、太田技術専門職員が文部科学大臣表彰を受賞

本学は5月19日、日本の科学技術の発展に寄与する独創性の高い研究や開発を行った研究者を称える「令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰」の「若手科学者賞」を受賞した異分野基礎科学研究所の長尾遼特任講師、「研究支援賞」を受賞した自然生命科学研究支援センターの太田弘道技術専門職員に対する賞状等の伝達式を執り行いました。

式では、榎野学長が文部科学大臣から送付された賞状と表彰メダルを授与。式後は、榎野学長と那須 保友理事(研究担当)・副学長が受賞者と懇談し、改めてその業績を讃えるとともに激励しました。



長尾特任講師(中央)

太田技術専門職員(中央)

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11242.html

Pick up!

医学部医学科生による 鹿田キャンパスバーチャルツアー映像を公開！



本学医学部医学科生が360度カメラを用いて、鹿田キャンパスをバーチャルでご案内します。岡山大学医学部の象徴である赤門や、現代的なデザインの Junko Fukutake Hall、また、医療系の学生が授業で使うシミュレーター室などをご覧ください。

参考 <https://oumed.okayama-u.ac.jp/med/about/campus/campustour/>

TOPICS

3

遠西研究教授がAMED

「令和4年度ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析)」に採択

岡山大学病院ゲノム医療総合推進センターの遠西大輔研究教授が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「令和4年度ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム(次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析)」に採択されました。

今回、遠西研究教授は「COPDの病態解明・新規治療開発のための空間シングルセル・マルチオミックスデータベース構築」という研究開発課題のもと申請。申請数13件と多いものでしたが、採択に至り、令和4年度、研究チームを率いることになります。

今回の採択を受けて遠西研究教授は、「岡山大学に配備された世界最先端のゲノムテクノロジーを駆使して、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態解明と治療薬の開発を目指します」とコメント。1年間の研究活動に意欲を見せました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11232.html



遠西研究教授



TOPICS

4

「日ようび子ども大学 in 京山祭」に
工学部創造工学センター技術支援部門が出席

工学部創造工学センター技術支援部門は、6月12日に岡山県生涯学習センターで開催された、令和4年度「日ようび子ども大学 in 京山祭」に出展しました。今回で9回目の実施となる「日ようび子ども大学」は、大学コンソーシアム岡山が主催。今年度は岡山県内の12大学と1短期大学、吉備青少年自然の家、ぱるボランティア、岡山県青年団協議会、企画Lab.、鳥城高校ボランティア、岡山大学ボランティアが協力して、作って、遊んで、親子で楽しく学べるイベントをテーマに開催しました。岡山県生涯学習センター主催の「京山祭」と同時開催となっており、多くの家族連れや小学生のグループが参加しました。

同部門では、「ペットボトルでつくるキラキラ万華鏡」づくり体験を実施。48人の子ども達が参加・体験し、楽しい時間を提供することができました。今後も子ども達が楽しめるテーマの講座を継続的に実施してまいります。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11281.html

PRESS
RELEASE小惑星リュウグウの起源と進化
地球化学総合解析による太陽系物質進化の描像

自然生命科学研究支援センターの中村栄三特任教授らの研究グループは、日本の小惑星探査機「はやぶさ2」の探査対象であった小惑星リュウグウから回収された16粒子を用いて、詳細な地球化学総合解析を行いました。その結果、小惑星物質試料が太陽系形成前から現在に至る複雑な物理化学過程の証拠を保持していることがわかり、生命の起源を含む太陽系物質進化の新しい描像を導くに至りました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/press_r4/press20220610-1.pdf

